

帰りに宇治川の鉄橋のところに行った。

橋げたのコンクリートの土台に書いた
白ペンキの落書きを見て、考え込む。

僕の夢は一体何なのか。
僕は一体何になりたいのか。

兄貴の夢は何か。

兄貴は、これからは土木建築が
忙しくなると言う。

いろいろな高層ビルが立ち、
治水でダムや下水工事も重要だと言う。

僕は、それよりも、もっと先のロボット社会を夢見る。

鉄人28号を作るのも良いが、
究極には、自分で考えるロボットが
存在する社会を考えたい。

僕は自分で飛行機を操縦するよりは、
寝ながら飛行機に乗れるような

自動で空を飛ぶようなものの方が良い。

自分で見て判断する機械を作り、
人間が寝ていても仕事をしてくれる機械を作りたい。

人間が人間でいられる為に、
機械にもっと考えてもらいたい。

兄貴、オメデトウ